



あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り変わっていますね。

気候の変化はありますが、お子様の体調に気をつけながら楽しんで過ごしていきたいと思っております(^_^)



今月の活動

5月は、買い物活動を実施しました。初めて参加されるお子様もいらっしゃいましたが、お友達や職員と列に並んで歩き、交通ルールを守ることを頑張りました！また、困ったときには職員へ要求を伝えながらにこにこお買い物できました！☺
主に高学年のお子様は、班長や副班長として、年下のお友達に「車が来てるから気を付けて！」と知らせてくれたり、お友達の歩くペースに合わせてながら歩きました。役割意識を持ち、周囲に目を向けながら活動するお兄さん・お姉さんのような姿が見られました。今年度は、秋に第2回目の買い物活動を企画しておりますので、さらに成長したお子様の姿を見られることが楽しみです。

TOPICS

《よく家や学校に忘れ物をしてしまう…。》

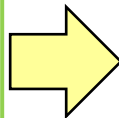


忘れ物をしてしまうことがあるけれど、どのように対応したらよいか分かりづらい☹️ということはないでしょうか？


今回は、忘れ物をしてしまう要因と、忘れ物を減らすための工夫の例をご紹介します。

【要因の例】

- ①注意が逸れやすく、指示を一時的に記憶に留めておくことが苦手
- ②持っていく物は何があるのかという全体像がわかりづらい。
(例：国語の準備：具体的には何を準備すればよいか分かりづらい)
- ③整理整頓が苦手で、どこに何があるのかが分かりづらく、漏れがある。



【工夫の例】

- ①学校へ持っていく物、学校から持って帰る物をリスト化する(例：写真によるリスト、文字によるリスト、チェックリストなど)
- ②各教科の持ち物や配布物・提出物を、それぞれのセットにしファスナー付き袋へ入れる。

- ③家での置き場所を決める。(例：ランドセルを置く棚、教科ごとに必要な持ち物を置く場所を決めておく。)

はじめの方は、保護者の方からの声掛けや、リストを見ながら一緒に忘れ物がないかを確認することが必要です。だんだんとリストを見て持ち物を確認することに慣れると、一人で準備ができるように声掛けを減らし、見守ることがお子様の自立へと繋がると思います。

また、ご家族からの声掛けの仕方も大切です。「確認できてえらいね！」といった、リストを使って確認できていることへの声かけが大切だと思います。忘れ物がなかった日には、「すごいね！忘れ物しなかったね！100点だね！」など、お子様が“自分の力でできた！褒められた！”と感じられるような声掛けをしていただくと、お子様が達成感を味わいながら取り組めるかと思っております(*^^*)

上記は一例です。ご不明な点がございましたら、職員へお尋ねください◎